

北山少第 11 号
令和 8 年 4 月 30 日

佐賀県知事 山 口 祥 義 様

特定非営利活動法人みんなの森プロジェクト
理事長 吉 村 剛

令和 7 年度佐賀県北山少年自然の家管理運営業務事業報告書
について （報告）

令和 7 年 2 月 28 日付け政第 4146 号で締結した北山少年自然の家の管理
運営に関する協定書第 21 条の規定により別紙のとおり報告します。

記

- ・管理運営業務の実施状況
- ・利用実績

令和7年度佐賀県北山少年自然の家 管理運営業務事業報告書

指定管理者名

みんなの森プロジェクト

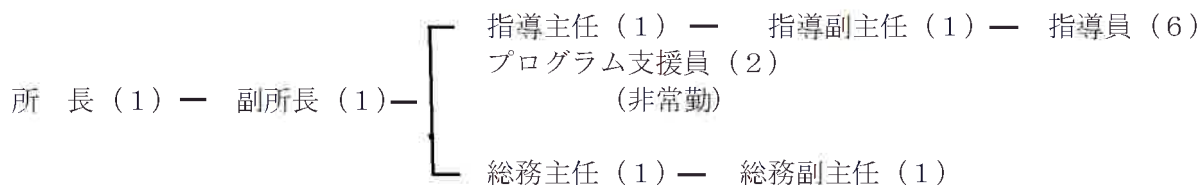
第1 趣旨

この報告書は、佐賀県北山少年自然の家の管理運営に関する協定書第21条第1項第1号に定める「管理運営業務の実施状況」について記載しているものである。

第2 管理運営体制

1 組織・人員配置

(1) 組織図



(2) 職員名簿及び業務分掌等

職 名	氏 名	業務分掌	備 考
所 長		所の業務の統括	樹木医、森林インストラクター、環境カウンセラー、ネイチャーゲーム指導者
副所長		所長の補佐	教員免許 NEAL リーダー
総務主任 (総務班)		総務班の統括	
総務副主任 (総務班)		庶務、会計	
指導主任 (指導班)		指導班の統括	社会福祉主事、レクリエーションインストラクター、NEAL コーディネーター/主任講師
指導副主任 (指導班)		利用団体への支援・指導等	NEAL リーダー、 ネイチャーゲーム指導者リーダー
指導員 (指導班)		利用団体への支援・指導等	教員免許、NEAL インストラクター、ブッシュクラフトアドバイザー、レクリエーションインストラクター
指導員 (指導班)		利用団体への支援・指導等	NEAL インストラクター
指導員 (指導班)		利用団体への支援・指導等	NEAL リーダー、 プレイリーダー1級
指導員 (指導班)		利用団体への支援・指導等	NEAL リーダー
指導員 (指導班)		利用団体への支援・指導補佐等	
指導員 (指導班)		利用団体への支援・指導補佐等	
プログラム支援員 (指導班)		木工クラフト、木の遊び場づくり	
プログラム支援員 (指導班)		森林体験学習 水辺の体験活動支援	カヌージュニア公認指導員

(3) 業務担当者の確保等

- ① 甲種防火管理者 :
- ② 無線従事者 :
- ③ 危険物取扱者丙種 :
- ④ レクリエーションインストラクター :
- ⑤ 救命講習修了 : 所員全員
- ⑥ 労働安全衛生教育修了(草刈り機) : 所員 10 人

2 職員の指導育成・研修体制

期日	研修名(実施主体)	受講者数
5/8	危機管理講習	12
6/24	カヌー、E ボート指導講習	9
7/9	福岡県立英彦山青年の家視察研修	2
7/14	宇部市小野湖視察研修	2
8/7	同和問題講演会（県）	1
9/16	生涯学習関係職員研修（佐賀県立生涯学習センター）	3
9/20	日本生活体験学習学会研究大会（日本生活体験学習学会）	1
10/11～12	プレイリーダー1 級研修（玄海の家）	1
10/22	英彦山青年の家視察研修	3
11/8～9	プレイリーダー1 級研修（玄海の家）	1
11/9	まなびいフェスタ（アバンセ）	1
11/10～12	カヌー指導者養成・ジュニア資格検定（玄海青年の家）	2
12/2	消防訓練（1 回目）	10
12/11～12	九州地区青少年教育施設職員研修（九州地区青少年施設協議会）	1
12/16～19	NEAL コーディネーター養成研修（徳地青少年自然の家）	1
12/24	北九州市立玄海青年の家視察研修	3
1/19	職員研修	12
2/5	三施設合同研修会（県）	8
2/24、25	熊本市立金峰山自然の家視察研修	12
3/ 4～6	NEAL レインストラクター養成研修	2
3/4～5	北九州市立少年自然の家視察	3
3/6	消防訓練（2 回目）	10
3/10～11	防火管理者講習会	1

※毎月1回：職員研修 ①利用アンケートの意見・要望等の事案に係る事例研修
②提案型事業の振り返りや計画（案）の共通認識

3 地元との連携

- (1) NPO [みんなの森プロジェクト] の環境や森林等に係る活動プログラムメニューとの連携
- (2) 「嘉瀬川ダム利活用推進協議会」への参加
- (3) 「北山湖周辺施設活性化連絡会」への参加
- (4) 北山フォレストパートナーズ役員会への参加

第3 施設の運営に関する業務

1 休所日と施設点検日

(1) 休所日

① 令和7年12月29日（月）～令和8年1月3日（土）

（理由）職員の働き方改善のため（年末年始期間）

② 令和8年1月19日（月）

（理由）職員研修及び先進地視察研修のため（研修地・訪問先：古湯キャンプ）

※利用申し込みなし

③ 令和8年2月24日（火）～2月25日（水）

（理由）職員研修の一環としての視察研修のため（訪問先：熊本市立金峰山自然の家）

※利用申し込みなし

(2) 施設点検日

① 消防設備保守点検

- ・点検月日 令和7年5月12日、令和8年3月5日
- ・点検結果 消火器不良3本、感知器4個
- ・対応 不良品の取り替えを完了

② 自家用電気工作物保守点検

- ・通常点検月日 令和7年4月7日、5月7日、6月6日、7月6日、8月9日、9月15日、10月1日、11月7日、12月5日、令和8年1月9日、2月5日、3月5日
- ・総合点検月日 令和8年3月17日
- ・点検結果 異常なし

③ 屋内・屋外の施設点検

期 日	点検内容
4/4、8、29、5/8、23、26、31、6/1、2、3、5、6、23、24、30、7/2、3、7、8、14、18、8/3、15、23、28、29、9/12、25、29、10/14、15、27、11/4、5、10、17、12/5、16、R8/1/7、8、21、2/3、14、17、3/10、11、15、24、27	生活棟 電球・電池・蛍光灯交換、トイレ・各種ドア・ガラス修理、カーテン・網戸修理、エアコン・扇風機清掃、床板修理、浴槽タイル補修、ベランダ手摺の破損、害虫駆除等
4/4、26、27、30、5/3、4、8、23、25、6/2、5、6、7、23、30、7/2、3、10、8/15、18、21、9/9、12、10/14、22、24、27、11/17、20、22、12/1、2、R8/1/7、8、21、30、2/3、3/10、15	管理棟・保健室・つどいの広場 電球・蛍光灯交換、備品整理、エアコン清掃、タイル補修、畳表交換、障子補修、看板補修等
4/4、21、5/8、6/2、19、7/2、8/15、9/5、12、10/8、14、11/17、12/2、R8/1/7、21、2/3、8、9、3/15	食堂 電球・蛍光灯交換、殺菌灯交換、網戸修理、エアコン清掃等
4/4、5/8、6/2、20、7/2、18、8/15、9/3、10/14、11/17、12/2、25、R8/1/7、21、2/3、4、3/15、25、26	トイレ・倉庫 電球交換、整理、廃品処分、自転車・一輪車修理、下水詰まり修理等
4/4、5、7、18、23、25、5/8、12、13、15、30、6/2、8、17、18、23、24、27、7/2、6、15、18、21、8/3、13、15、17、18、9/3、12、16、17、22、27、10/14、21、23、11/2、3、5、17、20、12/2、17、R8/1/7、8、11、21、2/3、18、23、27、3/8、15、19	運動広場・キャンプ場・営火場・駐車場 プロムナード・施設周辺 清掃、草刈り、窯用レンガ購入、かまど補修、看板整備、テント設営・撤収及び整理等
4/4、28、5/8、11、6/2、15、29、7/2、3、8/3、15、21、9/2、16、28、10/6、14、27、11/7、17、12/2、16、R8/1/7、8、2/3、21、3/15、23	研修室・和室・工作室・視聴覚室 電球交換、備品整理、換気扇修理、網戸修理、エアコン清掃、草刈り、溝さらえ、障子補修等
4/4、26、5/8、25、6/2、23、7/2、3、8/15、18、21、9/12、10/14、11/17、20、12/2、R8/1/7、8、21、2/3、3/15	プレイホール 備品整理、ドア補修、照明交換等

2 受け入れ事業

(1) 利用実績

延利用者数	延宿泊者数	(内免除者数)	実研修者数	実利用団体数	利用拒否等件数
39,273	14,919	743	24,068	537	0

(2) 県内の学校の優先受付

受付期間	受付件数	受付総人数
4/1～5/10	78	6,317

(3) 活動プログラムの内容及び団体等への指導・支援

活動プログラム	内容(回数)	指導・支援の内容
登山	井原山(8)、雷山、井原山・雷山縦走	登山の安全確認・連絡
フィールドビンゴ	北山湖コース(72) お散歩コース(5)、アドベンチャーコース(4)、ネイチャービンゴ(7)、ミニフィールドビンゴ(11)、葉っぱビンゴ(2)、木肌ビンゴ	全体コース説明及び指導者に対してコース確認説明
ウォークラリー	ふれあいの森A・Bコース(2)、ペンタコース	全体コース説明及び指導者に対してコース確認説明
ハイキング	北山ダム湖畔周遊コース(1)、嘉瀬川ダムハイク(1)	—
ナイトハイク	ナイトハイク(15)	全体コース説明及び道具の貸し出し
水辺の活動	カヌー(2)、川遊び(7)	川での安全確認、指導
サイクリング	サイクリング(レイクサイド北山)	—
野外炊飯	カレー(59)、焼きそば(16)、豚汁(2)、バーベキュー(32)、すき焼き風煮、竹ご飯、竹パン	火起こし迄の過程説明、後片付け指導
	ピザ(9)、カートンドック(1)、バームクーヘン(2)、そうめん流し(5)、焼きリンゴ	ピザ作り等の支援
屋外スポーツ	サッカー(16)、ソフトボール(3)、ラグビー(4)、陸上(4)、野球(2)	—
自然等観察	天体観測、野鳥観察、植物観察、昆虫観察、ホタル観察	—
屋外活動	木登り(1)、大丸太切り(10)	安全確認
屋内活動	インドアビンゴ(6)、なぞときインドアゲーム(2)、カラーリング(10)、ミニインドアビンゴ、レクリエーションゲーム、ドッチビー)	全体コース、ルール説明
屋内スポーツ	バスケットボール(5)、バレーボール(6)、空手(8)、剣道(3)、柔道(1)、バドミントン(3)、ドッジボール(1)、ミニバレーボール、卓球	—
クラフト	焼杉(24)、プラホビー(2)、万華鏡(1)、丸太切り(5)、丸太のキーホルダー(11)、丸太のマグネット(12)、竹水鉄砲(5)竹はし(4)、竹食器(4)、木のスプーン(2)、丸太のペンダント(7)、アートクラフト(11)、クラッシュビー玉(5)、ブンブンごま(3)、葉脈しおり(2)	工作指導
キャンドルのつどい	キャンドルのつどい(55)	—
キャンプファイヤー	キャンプファイヤー(30)	—

(4) フィールドの開発・整備

月 日	点検内容・整備	月 日	点検内容・整備
4/7、8	プロムナード整備、せん定	8/10、14、27	カヌーコース・川遊び下見
4/17	登山道下見、除草	8/13、28、9/14	フィールドビンゴコース点検
4/19、23、25	フィールド内除草	9/15、10/9、15	登山道下見、除草
4/28	各所にスズメバチ駆除トラップ仕掛け	9/19、20、23	周辺道路整備 竹切りなど
5/4、7	プロムナード周辺整備	9/25、27、28	フィールド内除草
5/8、12、13	キャンプ場整備	12/6、21	フィールドビンゴコース確認
5/25、6/29、7/22	フィールドビンゴコース点検	12/17、22、23	所周辺溝さらえ
5/30、6/18、22	周辺道路整備 竹切りなど	R8/1/24、25	除雪
6/2、7/14	つどいの広場などせん定	R8/1/24、25	所内、周辺道路融雪剤散布
7/3、11、31	カヌーコース・川遊び下見	R8/2/18、3/18	カヌーコース下見
7/7、8	フィールド内除草	R8/3/13	登山道下見

3 提案型事業（イベント・出前授業）

別紙（1）参照

4 施設事業に係る広報・PR等

- (1) 各種印刷物の配布
 - ・利用の手引き
 - ・施設案内リーフレット
- (2) 各種メディアの利用
 - ・新聞各紙、モテモテさがへ事業参加者募集等の掲載依頼
- (3) 利用促進の誘客活動
 - ・市町（教育委員会及び小・中学校）へ文書による依頼
 - ・中学校・高校部活動へ文書による依頼
 - ・幼稚園、保育園へ文書による依頼
 - ・商工会議所及び各事業所へ文書による依頼
 - ・提案型事業募集の小・中学校へのチラシ配布
 - ・SNSの更新
- (4) その他
 - ・オリエンテーション動画の奨励

5 食事の提供

- (1) 栄養士・調理師・従業員数 栄養士(1人) 調理師(1人) 従業員(3人)
- (2) 食事の提供

① 安全対策

- ・食物アレルギー調査票をもとに利用者の把握をし、代替食や除去食の提供に努めた。
- ・利用団体等の利用者が食事をする30分前には検査を行い、安全・安心な食事提供に心がけた。
- ・利用者への安全・安心の食事提供を行うために、月1回の職員会議時に意見交換会を実施し、利用者アンケート等の意見や要望を基により高いサービス提供につとめてきた。
- ・食堂の衛生管理や給食業務従事者等の臨床検査成績書により確認を行い、感染症や食中毒の防止に努めてきた。

② 特別料理の提供

- ・利用者との事前打ち合わせ等で予算や要望等を直接聞き、鉢盛など、弾力的な対応に努めた。
- ・必要によっては、夜食のパンやおにぎり等を提供した。

③ 地元食材の提供

- ・地元農家や農協の安全・安心な食材を豊富に使用した食事の提供に努めた。

④ アンケートへの対応

- ・これから更に、食堂部門とも連携を密にして利用者満足度を高めていきたい

第4 施設の維持及び管理に関する業務

- 1 建築物保守管理業務、設備機器管理業務、清掃業務、保安警備業務、外構・植栽管理業務、環境衛生管理業務、廃棄物処理業務、衛生管理業務等の状況

別紙（2）参照

- 2 当該年度に指定管理経費で購入した物品

分 類	品 名	規 格	数 量	金 額	購入年月日
9-32-44	デジタルサイネージ用 モニター	ハイセンス 75U8R	1	242,000	令和8年3月26日
14-65-11	草刈機	共立 AZ853A	1	283,000	令和8年3月17日

第5 令和7年度の料金体系

別紙（3）参照

令和7年提案型事業（イベント）実績

別紙（1－1）

事業区分	事業名	期 日	募集対象及び人数	参加人数	効 果	施設ボランティアの活用
提案型事業	ボランティアアセミナー	5/5（月）～ 6（火）	中学生以上 20名程度	20名	座学や工作・野外炊飯の演習などを通して、ボランティアに必要な知識や技術を学んでもらった。	
	北山ファミリーフェスタ	5/18（日）	県民200名程度	683名	北山の自然を全身で感じて自然体験活動の楽しさを知ってもらい家族の絆を深めてもらうことができた。	5/18 9名 指導員の補助
	みんなの川遊び	7/27（日）	ファミリー 50名程度	50名	子どもたちのカヌー体験や水辺の生物の採取・観察などを通して川の環境と生物について学習、自然体験活動の大切さを認識してもらった。	7/27 2名 指導員の補助
	夏休みチャレンジキャンプ	8/16（土）～ 19（火）	小学4年～ 中学生50名程度	65名	カヌー・川遊び、野外炊飯、竹食器づくりなどを通して自然の大切さを感じるとともに、協調性やチャレンジ精神を養った。	8/16 4名 8/17 4名 8/18 4名 8/19 4名 指導員の補助
	がばいキャンプin北山	8/30土）～ 31（日）	小学4年～ 中学生50名程度	59名	北山の自然の中で、カヌー・川遊び、野外炊飯などを集団で活動することで、仲間意識を高め協働の心を育むことができた。	8/30 1名 8/31 1名 指導員の補助
	ファミリーで泊まらん会	9/6（土）～ 7（日）	ファミリー 25家族	25家族 81名	秋の自然探検やリング狩り、工作体験などを通して家族間の交流や家族の絆を深めることができた。	
	のんびら～とディキャンプ	10/4（土）	ファミリー 50名程度	69名	県内自然の家3施設共同の企画により開催し体験活動の推進を図った。段ボールピザ作りなど身近なものを使ったアウトドアを楽しみ家族の絆を深めてもらった	
	わんぱく運動会	10/25（土）～ 26（日）	小学1年～ 3年生 60名	56名	松ぼっくり入れ、どんぐりを運ぶレク走など自然のものを使った競技を楽しみながら自然に親しみ、協調性や自主性を育むことができた。	10/25 2名 10/26 2名 指導員の補助
	北山にいこうよう	11/24（月）	県民200名程度	425名	北山の自然の中で、大声コンテストやクラフトなどの自然体験活動の楽しさを知ってもらい家族の絆を深めてもらうことができた。	11/24 12名 指導員の補助
	わんぱくキッズ	1/24（土）～ 25（日）	小学1年～ 3年生 60名	37名	雪遊びやクラフトなどの自然体験活動を通してグループ行動や協調性について学んだ。	1/24 1名 1/25 1名 指導員の補助
	カヌー親子体験教室	3/20（水）	18歳以上 10名程度	11名	カヌー体験などを通してリフレッシュにつなげてもらったり、自然の大切さを学んでもらったりすることができた。	
提案事業 計画 11事業（11回） 780名 実績 11事業（11回） 1,556名						

令和7年度提案型事業（出前授業）実績

別紙（1-2）

事業区分	事業名	期日	参加人数	効果	施設ボランティアの活用
提案型事業	出前講座	4/26（土）	7名	登山を通して自然に親しみ愛着を深めてもらった。	
		5/11（日）	51名	工作体験を通して森や樹木への関心を深められた。	
		5/24（土）	114名	葉っぱスタンプや万華鏡遊びで自然の楽しさを感じた。	
		6/7（土）	32名	竹で作る水鉄砲を体験して道具の使い方を学んだ。	
		6/13（金）	29名	葉っぱスタンプづくりなどで自然の多様性を理解した	
		6/29（日）	60名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		7/18（金）	8名	川遊び、川の生き物調査を行い川の環境を学んだ。	
		7/19（土）	28名	工作体験を通して森や樹木への関心を深められた。	
		7/19（土）	37名	竹で作る水鉄砲を体験して道具の使い方を学んだ。	
		7/22（火）	44名	工作体験を通して森や樹木への関心を深められた。	
		7/24（木）	26名	葉っぱスタンプづくりを通して樹木学習を行った。	
		7/25（金）	23名	葉っぱスタンプづくりを通して樹木学習を行った。	
		7/26（土）	633名	竹で作る水鉄砲を体験して道具の使い方を学んだ。	
		7/29（火）	75名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		8/1（金）	43名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		8/9（土）	23名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		8/23（土）	51名	竹で作る水鉄砲を体験して道具の使い方を学んだ。	
		8/27（水）	51名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		8/27（水）	8名	川での体験を行って自然を学んでもらった。	
		9/19（金）	39名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		9/24（水）	104名	木の実などを使ったアートクラブ体験を楽しんだ。	
		9/28（日）	38名	森の観察や森のはなしを聞いて体験学習を行った。	
		10/30（木）	100名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		10/31（金）	65名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		11/1（土）	807名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		11/2（日）	1072名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		11/3（月）	675名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		11/8（土）	86名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		11/9（日）	80名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	

事業区分	事業名	期日	参加人数	効果	施設ボランティアの活用
提案型事業	出前講座	11/9 (日)	49 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		11/12(水)	14 名	秋の紅葉を楽しみながら、自然のことを学んだ。	
		11/12(水)	25 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		11/13 (木)	76 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		11/14 (金)	89 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		11/16 (日)	65 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		11/16 (日)	50 名	野外炊飯を通して火のおこし方や安全を学んだ。	
		11/21 (金)	83 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		11/21 (金)	7 名	たき火を体験し、火の起こした方や安全を学んだ。	
		11/22 (土)	250 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/3 (水)	123 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/4 (木)	18 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/5 (金)	18 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/6 (土)	10 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/7 (日)	62 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/8 (月)	177 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/10(水)	59 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/13 (土)	25 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/14 (日)	35 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/18 (木)	181 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/20 (土)	178 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/21 (日)	143 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/22 (月)	107 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		12/23 (火)	25 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		1/14(水)	20 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		1/15 (木)	102 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		1/21 (水)	16 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		1/24 (土)	13 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		1/27 (火)	44 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		1/29 (木)	58 名	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		1/30 (金)	6 名	草スキーや自然散策で自然の楽しさを知れた。	

事業区分	事業名	期日	参加人数		効果	施設ボランティアの活用
提案型事業	出前講座	2/1（日）		80	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		2/4(水)		45	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		2/5（木）		154	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		2/10（火）		52	カローリング体験を通して、人工林の役割を学んだ。	
		3/7（土）		12	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		3/14（土）		31	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		3/15（日）		10	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		3/19（木）		6	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
		3/27（金）		13	木の実などを使った工作で自然への愛着が深まった。	
実績 69回 6,940名						

別紙（２）

委託業務名	保守点検業者名	業務実績状況	契約額（円）	契約の方法
1 機械警備業務委託		施設機械警備		
2 施設管理業務委託		(1) 清掃業務 日常清掃作業 4/1 から 10/31 3/1 から 3/31 2人以上 11/1 から 2/28 1.5人以上 定期清掃 月2回以上 6人以上 (2) 空調設備等維持管理生活棟 管理棟 定期点検 冷房装置 暖房設備（バーナー関係） (3) 給・排水設備維持管理 水質管理 給水設備清掃 排水設備管理 (4) 害虫駆除 噴霧 煮散 各1回 (5) 自動扉開閉装置設備保守点検 定期点 調整 注油 清掃		
3 消防設備点検業務委託		消火器 自火報 火災通報装置 避難器具 誘導灯 機器点検 6ヶ月 1回 総合点検 年1回		
4 合併浄化槽保守点検業務委託		浄化槽保守点検 月4回 機能調整薬品等注入（薬品は業者負担） 流入水・放流水検査 月1回 流入ポンプ槽、中継ポンプ場清掃 年1回		
5 合併浄化槽清掃業務委託		浄化槽汚泥処分 年間 63 m ³		
6 自家用電気工作物保安管理業務		総合点検 年1回 通常点検 月1回 125kVA 6,600V		
7 無線電話設備保守点検業務委託		超短波無線電話設備点検（基地局及び移動局） 年2回		
8 防犯照明設備保守点検業務委託		総合点検 年1回 ローカル受信機・出力装置・トランスミッター・人感ライト他		
9 産業廃棄物収集運搬処理業務委託		週2回収集 可燃物・不燃物		
10 リネンサプライ業務委託		シーツ、枕カバー		
11 ホームページ保守業務委託		ホームページメンテナンス保守及び更新作業		
12 建築物に係る築設備定期点検業務		建築基準法第12条に基づく建築物に係る建築設備定期点検		
北山 計				

別紙(3)

令和7年度 料金一覧

(1) 宿泊 (1人当たり1泊毎)

区 分	金額 (宿泊棟)	金額 (キャンプ場)
3歳未満	無料	無料
3歳から中学生	600円	100円
高校生・学生・23歳未満の青年(企業研修を除く)、教育活動内に係る教職員等	900円	150円
上記以外の者	1,300円	350円

(2) 日帰り (1団体当たり1時間毎)

施設・設備	金額
談話室、視聴覚室、研修室(第1・第2・第3)、和室、工作室、プレイホール(半面)、グラウンド ほか	200円
冷暖房	100円

(3) 食事 (1人当たり)

	レストラン食		野外炊飯		
	金額 (就学前)	金額 (小学生以上)	金額 (就学前)	金額 (小学生以上)	メニュー
朝 食	400円	500円	400円	500円	野菜炒め、焼き魚
昼 食	550円	700円	550円	700円	カレーライス、焼きそば、豚汁、すきやき風煮、ピザ
夕 食	700円	900円	700円	900円	
特別食			1,600円		バーベキュー

(4) 活動プログラム

プログラム名	金額	プログラム名	金額
キャンプファイヤー	薪 3,000円 灯油 200円 トーチ 100円	丸太のマグネット	200円
		丸太のキーホルダー	200円
キャンドルの集い	2,000円	丸太のペンダント	200円
アートクラフト(小・中・大)	330~880円	クラッシュビー玉	200円
焼 杉	300円	木のスプーン作り	500円
どんぐりトトロ	300円	竹箸作り	150円
どんぐりメモスタンド	350円	竹食器作り	150円
葉脈しおり	150円	竹水でっぽう作り	300円
ブンブンごま	100円	飛ぶタネの模型作り	100円
プラホビー	200円	カヌー体験	1,000円

令和7年度 佐賀県北山少年自然の家

2026年3月31日 現在

1. 利用状況

	延 利 用 者 数	延 宿 泊 者 数	実 利 用 者 数
男	21,683	8,667	12,870
女	17,590	6,252	11,198
今年度計	39,273	14,919	24,068
開所以来合計	2,067,809	1,161,775	891,714

2. 類型別利用者数及び団体数 (%)

	園児	小学	中学	高校	大学	特別支援学校等	少年団等	青年団等	女性団体	家族	企業	指導者	成人	高齢者	出前講座	合計
実数	337	4,943	470	1,316	285	68	6,643	15	13	1,489	676	731	142	0	6,940	24,068
	1	21	2	5	1	0	28	0	0	6	3	3	1	0	29	100.0
団体数	11	70	4	11	9	3	145	3	2	21	18	164	7	0	69	537
	2	13	1	2	2	1	27	1	0	4	3	31	1	0	13	100.0
県内団体数	10	46	2	5	6	3	46	2	2	14	15	98	6	0	64	319

3. 宿泊日数別実利用者及び団体数 (%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊以上	合計
実数	9,968	11,364	2,466	153	37	80	0	24,068
	41	47	10	1	0	0	0	100.0
団体数	275	210	43	5	1	3	0	537
	51	39	8	1	0	1	0	100.0
県内団体数	197	101	20	1	0	0	0	319

4. 規模別利用団体数 (%)

	50人未満	50～99人	100～149人	150～199人	200～249人	250人以上	合計
団体数	397	75	40	12	3	10	537
	74	14	7	2	1	2	100.0
前年度 まで	9,369	3,249	1,431	616	337	285	15,287
	61	21	9	4	2	2	100.0
合計	9,766	3,324	1,471	628	340	295	15,824
	62	21	9	4	2	2	100.0

5. 月利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所口数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	24	31	355
利用状況	28	27	20	25	30	26	23	25	12	4	6	23	249
比率	93	87	67	81	97	87	74	83	43	14	25	74	70.1

6. 延利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	4,758	4,809	3,806	3,562	4,131	3,322	2,328	7,129	2,040	649	984	1,755	39,273

7. 延宿泊者

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2,588	1,719	1,765	1,249	2,064	1,430	1,014	1,430	416	193	307	744	14,919

8. 実利用者

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2,141	3,058	2,031	2,315	2,013	1,816	1,291	5,656	1,644	450	679	974	24,068

9. 類型別実利用者数（団体数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
園 児	0 0	23 1	0 0	188 4	47 2	8 1	65 2	0 0	0 0	0 0	0 0	6 1	337 11
小 学	0 0	1,593 23	1,163 16	0 0	0 0	422 9	642 9	1,084 11	13 1	0 0	0 0	26 1	4,943 70
中 学	106 1	0 0	0 0	0 0	0 0	340 2	0 0	24 1	0 0	0 0	0 0	0 0	470 4
高 校	1,039 5	0 0	50 2	0 0	138 3	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	89 1	1,316 11
大 学	0 0	0 0	112 2	0 0	70 2	65 2	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	38 3	285 9
特別支援学校等	0 0	0 0	0 0	36 1	0 0	22 1	10 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	68 3
少年団体	495 7	268 9	411 10	982 19	1,499 33	569 11	249 9	627 17	419 9	155 6	309 3	660 12	6,643 145
青年団体	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	8 2	7 1	0 0	0 0	0 0	15 3
女性団体	8 1	5 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	13 2
家 族	10 2	698 4	4 1	57 2	22 3	81 1	145 2	437 4	24 1	0 0	0 0	11 1	1,489 21
企 業	165 3	133 2	101 1	78 6	0 0	90 1	0 0	34 1	0 0	19 1	14 1	42 2	676 18
指 導 者	311 48	91 23	59 18	100 23	47 18	9 6	15 4	14 5	20 3	17 3	25 7	23 6	731 164
成 人	0 0	82 3	10 1	0 0	14 1	29 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	7 1	142 7
高 齢 者	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
出前講座	7 1	165 2	121 3	874 8	176 5	181 3	165 2	3,428 15	1,161 14	259 7	331 4	72 5	6,940 69
合 計	2,141 68	3,058 68	2,031 54	2,315 63	2,013 67	1,816 38	1,291 29	5,656 56	1,644 29	450 17	679 15	974 33	24,068 537

10. 宿泊日数別実利用者数（団体数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
日 帰 り	276 49	1,319 33	180 21	1,121 39	322 27	385 12	199 7	4,119 29	1,236 20	295 11	370 12	146 15	9,968 275
1泊2日	774 12	1,617 33	1,837 31	824 16	1,061 24	1,181 22	1,015 19	1,524 26	358 5	112 5	309 3	752 14	11,364 210
2泊3日	1,067 6	122 2	10 1	356 7	447 12	205 2	77 3	13 1	50 4	43 1	0 0	76 4	2,466 43
3泊4日	0 0	0 0	4 1	0 0	146 3	3 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	153 5
4泊5日	0 0	0 0	0 0	0 0	37 1		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	37 1
5泊6日	24 1	0 0	0 0	14 1	0 0	42 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	80 3
6日以上	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
合 計	2,141 68	3,058 68	2,031 54	2,315 63	2,013 67	1,816 38	1,291 29	5,656 56	1,644 29	450 17	679 15	974 33	24,068 537

11. 規模別利用団体

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
50人未満	56	46	39	52	55	27	20	31	18	15	10	28	397
50～99人	2	15	9	7	9	5	4	15	4	1	2	2	75
100～149	6	6	4	1	2	4	4	4	4	1	1	3	40
150～199	1	0	2	2	0	1	1	0	3	0	2	0	12
200～249	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
250人以上	2	1	0	1	1	0	0	5	0	0	0	0	10
合 計	68	68	54	63	67	38	29	56	29	17	15	33	537

1.2. 年度別利用状況

延 利 川 者 数	延 宿 泊 者 数	実 利 川 者 数	団 体 数	
昭和6 2年度	33,874	18,964	14,891	248
昭和6 3年度	51,206	30,948	20,338	269
平成元年度	50,038	29,908	20,113	278
平成2年度	52,276	31,363	20,978	278
平成3年度	57,700	34,906	22,791	408
平成4年度	65,299	39,884	25,247	481
平成5年度	65,217	39,924	25,220	445
平成6年度	66,774	39,867	26,935	452
平成7年度	71,486	43,232	28,427	427
平成8年度	68,658	40,802	27,753	437
平成9年度	68,486	40,542	27,496	421
平成1 0年度	67,376	40,058	26,945	415
平成1 1年度	64,272	38,212	25,622	388
平成1 2年度	60,537	35,888	24,207	368
平成1 3年度	57,025	33,409	23,161	386
平成1 4年度	62,250	37,987	24,205	406
平成1 5年度	62,097	38,915	23,309	363
平成1 6年度	56,740	34,569	21,980	363
平成1 7年度	54,848	33,768	21,189	324
平成1 8年度	56,400	34,782	21,333	349
平成1 9年度	55,501	33,306	21,825	355
平成2 0年度	56,377	33,894	22,210	339
平成2 1年度	52,498	31,477	20,819	301
平成2 2年度	47,975	27,891	19,858	280
平成2 3年度	52,606	30,995	21,392	321
平成2 4年度	51,623	29,371	21,911	367
平成2 5年度	57,164	32,056	24,782	489
平成2 6年度	51,110	29,172	21,761	464
平成2 7年度	55,040	29,935	24,712	489
平成2 8年度	55,097	28,843	25,715	498
平成2 9年度	56,697	27,272	28,511	548
平成3 0年度	58,579	25,083	30,357	608
令和元年度	43,009	18,084	22,759	466
令和2年度	18,068	4,472	13,087	358
令和3年度	24,640	7,565	16,942	443
令和4年度	30,729	10,811	19,633	424
令和5年度	31,745	13,098	18,452	498
令和6年度	37,519	15,603	20,780	533
令和7年度	39,273	14,919	24,068	537
合 計	2,067,809	1,161,775	891,714	15,824

1.3. 出前講座利用状況

日付	団体名	人数
		0

14. キャンセルの状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数 (宿泊)	0	6	6	5	11	5	9	6	0	1	1	4	54
実利用者数 (宿泊)	0	179	314	204	552	139	346	199	0	140	25	253	2,351
団体数 (日帰り)	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
実利用者数 (日帰り)	40	0	108	0	0	0	0	4	0	0	0	0	152
利用料金の 減収額	0	0	35,200	75,600	92,000	8,400	48,000	23,000	0	16,000	1,500	29,100	328,800

※利用料金（寝具代除く）の減収額については、概算でご記入ください。（宿泊：実利用者数×泊数×利用料金）（日帰り：利用料金×時間）

北山少第 14 号
令和 8 年 6 月 30 日

佐賀県知事 山 口 祥 義 様

特定非営利活動法人みんなの森プロジェクト
理事長 吉 村 剛

令和 7 年度佐賀県北山少年自然の家管理運営業務事業報告書
について （報告）

令和 7 年 2 月 28 日付け政第 4146 号で締結した北山少年自然の家の管理
運営に関する協定書第 21 条の規定により別紙のとおり報告します。

記

- ・ 令和 7 年度管理運営業務収支決算
- ・ 令和 7 年度管理運営業務評価表

北山少年自然の家

	項目	令和7年度実績
収入	委託料	86,185,000
	利用料金収入	10,862,800
	その他の事業収入	
	教材売上収入	1,364,750
	キャンプ場利用収入	49,100
	キャンプファイヤー代	113,150
	キャンドル代	110,000
	雑収入	498,032
	計	99,182,832

支出	人件費	報酬手当	0
		給与手当	52,365,476
		福利厚生費(健診料含む)	144,080
		計	52,509,556
	施設管理受託事業費	外部委託料	17,761,202
		修繕費	2,276,344
		その他(修繕費を除く需用費・備品購入費等)	14,450,034
	事業費	利用事業	4,648,608
	計		39,136,188
	消費税		5,312,070
	合計		96,957,814

令和7年度 収入内訳

科 目	金 額	備 考
委託料	86,185,000	
利用料金収入	10,862,800	
その他の事業収入		
教材売上収入	1,364,750	
キャンプ場利用収入	49,100	
キャンプファイヤー代	113,150	
キャンドル代	110,000	
雑収入	498,032	
計	99,182,832	

(一般会計)

令和7年度 事業収入

佐賀県委託金収入

月日	北山少年自然の家				委託金計	合 計
5.28	25,685,000				25,685,000	25,685,000
8.19	19,668,000				19,668,000	19,668,000
11.18	24,849,000				24,849,000	24,849,000
2.18	15,983,000				15,983,000	15,983,000
	86,185,000				86,185,000	86,185,000

(一般会計)

令和7年度 事業収入

利用料金収入

月日	利用料	うち本館	うち施設	うち寝具代		合 計
4月	1,778,000	539,800	2,200	1,236,000		1,778,000
5月	1,523,600	291,000	5,600	1,227,000		1,523,600
6月	1,247,800	187,600		1,060,200		1,247,800
7月	725,200	198,200	2,000	525,000		725,200
8月	1,764,500	478,100	3,000	1,283,400		1,764,500
9月	977,100	179,100	6,600	791,400		977,100
10月	669,700	113,700	1,000	555,000		669,700
11月	934,200	108,600	9,600	816,000		934,200
12月	325,700	57,700	2,800	265,200		325,700
1月	136,700	20,300	1,200	115,200		136,700
2月	103,500	9,300	1,200	93,000		103,500
3月	676,800	136,200	2,400	538,200		676,800
	10,862,800	2,319,600	37,600	8,505,600		10,862,800

(一般会計)

令和7年度 事業収入

食堂事業収入

月日	食堂事業収入	うち電気使用料	うち浄化槽管理費			合 計
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
1月						
2月						
3月	242,662	151,720	90,942			242,662
	242,662	151,720	90,942			242,662

(一般会計)

令和7年度 事業収入

その他の事業収入

月日	教材売上	キャンプ場利用	キャンプファイヤー	キャンドル			合 計
4月	11,800		3,800				15,600
5月	300,550		27,000	22,000			349,550
6月	313,150	3,550	16,450	26,000			359,150
7月	54,300	38,000	4,250	4,000			100,550
8月	100,000	6,500	9,700	10,000			126,200
9月	173,450		7,800	16,000			197,250
10月	62,100		11,200	16,000			89,300
11月	295,800	1,050	18,500	12,000			327,350
12月	1,000						1,000
1月							0
2月			3,700				3,700
3月	52,600		10,750	4,000			67,350

	1,364,750	49,100	113,150	110,000			1,637,000
--	-----------	--------	---------	---------	--	--	-----------

1 収入積算内訳

項 目		計画額		実績額
		積算基礎 (単位：円)		(単位：円)
1	県委託料	86,185	86,185,000 円 × 1 式	86,185,000
2	利用料金	11,302		
	〈宿泊利用料・本館〉			
	(1) 中学生以下	0 円 × 9,900 人	0	
	(2) 高校生・大学生	300 円 × 2,600 人	780,000	
	(3) 学校行事利用の引率者	300 円 × 650 人	195,000	
	(4) 上記に掲げる以外の者	700 円 × 1,850 人	1,295,000	
	〈寝具代〉			
	(5) 3歳以上	600 円 × 15,000 人	9,000,000	
	〈施設使用料〉			
	(6) 研修室等利用料	200 円 × 160 回	32,000	
	小 計		11,302,000	10,862,800
3	その他	1,903		
	(1) 食堂電気料等負担金	250,000 円 × 1 式	250,000	
	(2) 教材売上収入	240 円 × 4,250 人	1,020,000	
	〈キャンプ場利用料〉			
	(3) 中学生以下	100 円 × 350 人	35,000	
	(4) 高校生・大学生	150 円 × 16 人	2,400	
	(5) 学校行事利用の引率者	150 円 × 4 人	600	
	(6) 上記に掲げる以外の者	350 円 × 130 人	45,500	
	(7) その他 (コピー機使用料他)	549,500 円 × 1 式	549,500	
	小 計		1,903,000	2,135,032
	合 計	99,390	99,390,000	99,182,832

2 人件費内訳

項 目		金 額 (単位：千円)	計画額		実績額
			積 算 基 礎 (単位：円)		(単位：円)
1	人件費	52,070			
	(1) 給与		2,976,000 円 × 12 月	35,712,000	
	(2) 賞与		8,493,000 円 × 1 式	8,493,000	
	(3) 社会保険料等		7,265,000 円 × 1 式	7,265,000	
	(4) その他 (プログラム支援員)		300,000 円 × 2 人	600,000	
				52,070,000	
合 計		52,070		52,070,000	52,509,556

3 施設維持管理経費内訳

項 目			計 画 額				実 績 額
			積 算 基 礎				(単位：円)
			(単位：円)				
1	旅費	180					
	(1) 県外出張旅費						
	・九州地区少年自然の家職員研修		120,000	円	×	1 式	120,000
	・NEAL他職員研修		50,000	円	×	1 式	50,000
	(2) 外部評価委員会		10,000	円	×	1 式	10,000
							0
							180,000
							227,360
2	通信運搬費	194					
	(1) 電話料						
	・固定電話		96,000	円	×	1 式	96,000
	(2) 通信費						
	・郵便切手		33,000	円	×	1 式	33,000
	・電波利用料		10,000	円	×	1 式	10,000
	(3) インターネット使用料						
	・インターネット		55,000	円	×	1 式	55,000
							194,000
							200,937
3	消耗品費	1,600					
	(1) 事務用品関係		225,000	円	×	1 式	225,000
	(2) 複写機関係消耗品		125,000	円	×	1 式	125,000
	(3) トイレ関係消耗品補充		100,000	円	×	1 式	100,000
	(4) 厨房関係補充		220,000	円	×	1 式	220,000
	(5) 定期刊行物		41,000	円	×	1 式	41,000
	(6) 図書購入費		9,000	円	×	1 式	9,000
	(7) 備品消耗品費		880,000	円	×	1 式	880,000
							1,600,000
							2,743,221
4	光熱水費	6,200					
	(1) 電気		6,140,000	円	×	1 式	6,140,000
	(2) ガス		60,000	円	×	1 式	60,000
							6,200,000
							4,937,494
5	燃料費	295					
	(1) ガソリン		265,000	円	×	1 式	265,000
	(2) 混合油		30,000	円	×	1 式	30,000
							295,000
							276,676
6	修繕費	2,420					
	(1) 建物等修繕		2,321,000	円	×	1 式	2,321,000
	(2) 自動車修繕		99,000	円	×	1 式	99,000
							2,420,000
							2,276,344
7	保険料	314					
	(1) 自動車保険関係		204,000	円	×	1 式	204,000
	(2) 施設賠償責任保険		110,000	円	×	1 式	110,000
							314,000
							233,789
8	租税公課費	5,200					
	(1) 自動車税			円	×	1 式	0
	(2) 消費税		5,200,000	円	×	1 式	5,200,000
							5,200,000
							5,336,820

(様式2-1)

9	負担金 (1)九州少年自然の家連絡協議会 (2)研修会参加負担金	100	8,000円 × 1式 92,000円 × 1式	8,000 92,000	
				100,000	216,295
10	委託料 (1)庁舎警備 (2)清掃 (3)消防設備保守点検 (4)污水处理施設保守点検 (5)電気工作物保守点検 (6)施設定期点検 (7)樹木管理 (8)無線機保守点検 (9)防犯照明設備保守点検 (10)廃棄物収集運搬処理 (11)合併浄化槽清掃 (12)クリーニング業務	21,280	2,230,000円 × 1式 9,680,000円 × 1式 150,000円 × 1式 2,090,000円 × 1式 190,000円 × 1式 200,000円 × 1式 450,000円 × 1式 190,000円 × 1式 260,000円 × 1式 300,000円 × 1式 840,000円 × 1式 4,700,000円 × 1式	2,230,000 9,680,000 150,000 2,090,000 190,000 200,000 450,000 190,000 260,000 300,000 840,000 4,700,000	
				21,280,000	17,761,202
11	使用料及び賃借料 (1)テレビ使用料・受信料 (2)コピー機リース料 (3)電話機リース料 (4)軽トラックリース料 (5)寝具リース料 (6)冷凍庫リース料他	5,291	46,000円 × 1式 284,000円 × 1式 220,000円 × 1式 188,000円 × 1式 4,500,000円 × 1式 53,000円 × 1式	46,000 284,000 220,000 188,000 4,500,000 53,000	
				5,291,000	5,236,305
12	手数料等 (1)浄化槽法定検査料 (2)インターネットバンキング・振込手数料 (3)その他手数料	407	17,000円 × 1式 90,000円 × 1式 300,000円 × 1式	17,000 90,000 300,000	
				407,000	292,690
13	雑費 (1)その他	0			
					60,517
	合 計	43,481		43,481,000	39,799,650

4 事業費内訳

		計画額		実績額
項 目	金 額	積 算 基 礎 (単位：円)		(単位：円)
	(単位：千円)			
1 利用団体支援事業	3,839			
ア 通信運搬費	389			
① 電話料				
・ 固定電話		194,000 円 × 1 式	194,000	
② 通信費				
・ 郵便切手		87,000 円 × 1 式	87,000	
③ インターネット使用料				
・ インターネット		108,000 円 × 1 式	108,000	
			389,000	393,119
イ 消耗品費	930			
① 事務用品関係		150,000 円 × 1 式	150,000	
② 複写機関係消耗品		125,000 円 × 1 式	125,000	
③ 備品消耗品費		655,000 円 × 1 式	655,000	
			930,000	2,123,689
ウ 広報費	220			
① パンフレット等印刷		120,000 円 × 1 式	120,000	
② ホームページ更新		100,000 円 × 1 式	100,000	
			220,000	154,000
エ 燃料費	2,300			
① 灯油		20,000 円 × 1 式	20,000	
② 重油		2,280,000 円 × 1 式	2,280,000	
			2,300,000	1,977,800
合 計	3,839		3,839,000	4,648,608

○令和7年度修繕費内訳

年度	修繕箇所	修繕内容	修繕期間	施行業者	修繕費
7	厨房の電気消毒保管庫修理	食堂厨房の食器乾燥機が点火時に不具合が生じたため、修理を行った。	R.07/06/18		49,500
	プレイホール前道路横断側溝修繕	プレイホール前の施設管理道路の横断側溝について、段差や蓋のズレが生じていたため修理を行った。	R.07/06/30		98,450
	生活棟トイレ呼出機修理	生活棟2階の多目的トイレ内に設置している呼出し装置に異常が発生したため、取替えを行った。	R.07/07/18		96,800
	消防設備器具取替え	消防設備等の定期点検の際に、消火器や感知器等の不具合が確認されたため、器具を取替えた。	R.07/07/23		60,500
	中浴場コンセント増設工事	脱衣所の電源が度々落ちるので、別電源から配線を引いてコンセントを増設した。	R.07/10/01		115,500
	大浴場コンセント増設工事	脱衣所の電源が度々落ちるので、別電源から配線を引いてコンセントを増設した。	R.07/10/06		104,500
	食堂ホール用空調機修理	食堂ホールの空調機が落雷により作動しなくなったため、室外機の部品の交換を行った。	R.07/10/08		286,000
	事務所用空調機修理	事務所の空調機が落雷により作動しなくなったため、室外機の部品を交換した。	R.07/10/21		143,000
	内線電話機の交換	内線の電話機が経年劣化により不具合が生じ使用できないため、電話機を交換した。	R.07/10/22		111,320
	空調集中管理リモコン取替	事務室に設置している宿泊部屋の空調を集中管理するリモコン装置が、落雷により損傷したため取替えた。	R.07/10/24		198,000
	厨房ガス炊飯器修理	厨房のガス炊飯器が、経年劣化により炊飯時に焦げる等不具合が生じたため、修理を行った。	R.07/12/18		48,818
	館内放送設備修繕	事務室横に設置している館内放送を行う放送設備が落雷により不具合が生じたため、部品の交換を行った。	R.08/01/30		242,000
	PH.キャンプ場放送設備修繕	キャンプ場及びプレイホールに設置しているスピーカーが経年劣化により作動しないため、取替えた。	R.08/01/30		308,000
7	プレイホール外部サッシ鍵交換	プレイホールの扉の鍵がかからなくなったため、2箇所の本締錠を取替えた。	R.08/02/18	55,000	
	厨房ガス炊飯器修理	厨房のガス炊飯器が、経年劣化により炊飯時に焦げる等不具合が生じたため、修理を行った。	R.08/02/27	41,800	
	公用車定期点検整備費	公用車の12ヶ月点検整備費用	R.08/03/02	33,710	
	キャンプ場照明器具取替	キャンプ場の管理棟の照明器具が経年劣化により点灯しないため、交換した。	R.08/03/19	33,616	
	中浴場脱衣所床修理	中浴場の脱衣所足ふき場の床が経年劣化により腐食しているため、修繕を行った。	R.08/03/24	45,000	
	宿泊棟トイレ下水管詰まり除去	第2宿泊棟トイレの流れが悪かったため、排水管の調査及び詰まっていた木根の除去を行った。	R.08/03/25	33,000	
	小口	草刈機修理、雨戸修理、トイレ修理、分電盤取替、ボイラーベルト取替等	詳細別紙		171,830
計					2,276,344

○令和7年度修繕費内訳

年度	修繕箇所	修繕内容	修繕期間	施行業者	修繕費
7	乗用草刈機修理	乗用草刈機のエンジンに不具合があったため修理を行った。	R.07/05/08		15,080
	キャンプ場雨戸修理	キャンプ場管理棟の雨戸が開閉に不具合が生じたため、修理を行った。	R.07/05/30		16,500
	宿直室サッシクローザー修理	宿直室入口のドアクローザーに不具合があったため修理を行った。	R.07/05/30		5,500
	グラウンド屋外トイレ詰まり除去	屋外トイレの下水管が詰まっていたため除去を行った。	R.07/06/20		27,500
	グラウンド屋外トイレ詰まり除去	屋外トイレの下水管が詰まっていたため、除去を行った。	R.07/07/18		27,500
	事務所の空調故障診断	事務所の空調機が落雷により作動しなくなったため、原因の調査を行った。	R.07/09/20		20,020
	キャンプ場分電盤修理	キャンプ場の分電盤が落雷により損傷したため取替えを行った。	R.07/10/01		27,280
	トイレ呼出装置故障調査	多目的トイレに設置している呼出し装置及び事務室の集中管理装置が、落雷により作動しなくなったため、原因の調査を行った。	R.07/10/16		18,150
	ボイラー室給排気ファン修理	給湯ボイラーの定期点検で、給排気ファンのベルトが経年劣化により伸びや剥離が確認されたため、交換を行った。	R.08/01/22		14,300

令和7年度 佐賀県北山少年自然の家管理運営業務評価表

評価									
項目	評価の観点	数値		実践事項	評価		課題・改善点		
		目標	実績		評点	評価基準			
1 少年自然の家の施設の平等の確保									
①生活スタイルに応じた配慮	1 利用料金の減免措置の取組み 2 利用団体(個人)への個別指導支援 3 施設・設備の工夫・改善	全利用団体に対応	100%	A 県条例・規則に基づいた使用料免除の措置を行う B 利用団体の状況によっては、県担当課等と協議し、適正な措置を講ずる C ユニバーサルデザインやバリアフリーの理念をふまえ、だれもが利用できる施設・設備の充実に努める D 学校等の利用において個別支援が求められた場合、できる限り適切に対応する	5	5: 1, 2, 、及び、A、B、C、Dに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、B、C、Dに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、B、C、Dに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, 、及び、A、B、C、D、に係る事項・内容が達成できなかった	・ 児童養護施設等の子どもたちへの配慮措置 を講じるとともに、準要保護家庭の児童・生徒へ の確実な支援に努めていく。 ・ 県内はもとより、県外の児童・生徒への配慮も考えていく。 ・ 家族や幼稚園の利用の増加に伴い、入浴、UDデザインの施設整備に当たる。 ・ 発達障害を持つ児童・生徒への個別支援を求める学校が増えてきていることから、今後も積極的に支援していく。(生活オリエンテーション動画の活用等)		
②公平な利用計画	1 計画的な利用団体の受け入れ業務の遂行 2 公平な施設利用の推進	全利用団体に対応	100%	A 利用基準や優先順序の基づいた団体等の利用受入ができたか B 2以上の団体等の利用がある場合、それぞれの団体の活動の機会・内容を調整し、互い満足できる活動になるよう、きめ細かな調整を行う	5	5: 1, 2, 、及び、A、B、に係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, 、及び、A、Bに係る事項・内容が達成できなかった	・利用要項をホームページ等で公表するとともに、県内外の学校団体や教育委員会等については利用希望調査を行い、受入期日を決定していくことができた。受入れ基準や優先順位の設置は県内はもとより福岡県内の諸学校の協力をいただいていた。 ・近隣の学校及び公園協議会の協力のもと、各利用団体の活動場所の提供ができた。 ・2団体以上の利用が重複した場合、各利用団体同士の活動調整を丁寧に行ってきた。		
2 少年自然の家の施設の効用の最大化									
①利用者意見の反映									

・利用者意見の把握	1 施設利用に関するアンケート調査票の実施	全利用団体	100%	A 全ての利用団体への当該アンケートの配布、並びに回収をする B アンケート結果や意見箱の意見等の分析を行い、スピーディな対応に努める	5	5: 1, 2, , 及び、A、B、に係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容が達成できなかった	・ アンケート項目内容等をよく吟味し利用団体（利用者）の意見・感想の把握に努めていく。 ・ アンケート回答は二次元バーコードからも行えるようにしていった。 ・ 利用者意見については、真摯に耳を傾け、できる限り迅速に改善し、気持ちよく利用していただけるよう対応していく。 ・ 提案型事業のアンケートについては、改善点としてまとめ、次年度のプログラム作成に活かしていく。
-----------	-----------------------	-------	------	---	---	---	--

	・利用者意見の反映	1 施設設備に関わる意見等への対応 2 食堂に関わる意見等への対応 3 職員等に関わる意見への対応	全利用団体に実施	100%	A 退所時に回収した利用者アンケートを分析し、対応できる意見等には、すぐに対応する(掃除状況、寝具状況、などの生活環境) B 食事内容にかかわる意見については、食堂にすぐに伝え、今後の食事サービスに生かしていく C 職員の対応への苦情については、個別に指導することはもとより、自然の家の職員全体への意見としてとらえ、共通理解を図る	5	5:1, 2, 3、及び、A、B、Cに係る事項・内容が十分達成できた 4:1, 2, 3、及び、A、B、Cに係る事項・内容がほぼ達成できた 3:どちらともいえない 2:1, 2, 3、及び、A、B、Cに係る事項・内容があまり達成できなかった 1:1, 2, 3、及び、A、B、Cに係る事項・内容が達成できなかった	・利用者アンケートはもちろんのこと、利用者に直接、話しかけ、意見や要望を聞き、利用者サービスの向上に生かし、繋げていく。 ・食堂に対する、多様な意見・感想を集約し、食事メニューの質や量に生かしていくとともに食堂スタッフ会議を設けて意見交換を行い安全安心の食事提供を行っていく。 ・「施設は人なり」ということを意識して、親切・丁寧に対応していく。
	・利用者満足度	1 利用団体等の利用目的の達成状況 2 活動プログラム(メニュー)の内容 3 職員の支援・指導の在り方	全利用団体に実施	95%	A 利用目的は達成できたか B 活動メニューは充実したか C レクリエーションやキャンプファイヤー、など、自然の家職員の支援は受けることができたか	4	5:1, 2, 3、及び、A、B、Cに係る事項・内容が十分達成できた 4:1, 2, 3、及び、A、B、Cに係る事項・内容がほぼ達成できた 3:どちらともいえない 2:1, 2, 3、及び、A、B、Cに係る事項・内容があまり達成できなかった 1:1, 2, 3、及び、A、B、Cに係る事項・内容が達成できなかった	・活動プログラム(メニュー)については、木材などを活用した新しいプログラムも導入し、団体には十分満足頂いている。また、雨天時のプログラムも新規に開発したいへん好評をいただいている。 ・利用団体の職員への支援要請については、極力、対応してきており、ボランティアの支援もお願いしてきた。 ・職員の対応は親切で迅速と一定の評価を頂いたが、より一層、共通理解やマナー等の充実を図っていきたい。
	②主催事業、自主事業							
	・参加目標数の達成	1 各事業における募集定員の確保	全募集定員	95%	A 三神地区や佐城地区を中心に学校訪問等を行い、広報の充実を図る B ホームページはもとより、マスコミ等での募集広報に努める C 学校等を中心に、利用団体等には事業開催の案内を文書で周知する	4	5:1、及び、A、B、Cに係る事項・内容が十分達成できた 4:1及び、A、B、Cに係る事項・内容がほぼ達成できた 3:どちらともいえない 2:1及び、A、B、Cに係る事項・内容があまり達成できなかった 1:1及び、A、B、Cに係る事項・内容が達成できなかった	・様々な企画による提案型事業を実施し、募集定員を大幅に上回る応募がある提案型事業もあり、参加者からは好評を得た。一方、定員に満たない事業もあり、広報の仕方等検討していく。 ・提案型事業については、定員に満たない事業、他の施設での大会と重複した事業があり、内容や広報の仕方を工夫し、様々な年齢層やニーズに応え、広く利用していただけるよう努める。
	・参加者満足度	1 期日・日程の在り方について 2 活動プログラムの構成 3 職員等の支援・指導について	全利用者に実施	100%	A 提案型事業は、長期休業中や学校休業日に開催するとともに、県内の各種イベント等と重ならない期日に開催する。 B 募集対象者の年齢や事業趣旨を踏まえたプログラム編成を行う C 参加者一人ひとりにきめ細かな支援・指導を行う	5	5:1, 2, 3、及び、A、B、C、に係る事項・内容が十分達成できた 4:1, 2, 3、及び、A、B、C、に係る事項・内容がほぼ達成できた 3:どちらともいえない 2:1, 2, 3、及び、A、B、C、に係る事項・内容があまり達成できなかった 1:1, 2, 3、及び、A、B、C、に係る事項・内容が達成できなかった	・今年も自然体験活動やキャンプ、川遊び体験に人気が集めた。更に、地域の特性を生かした活動を開発して利用団体(者)の満足度を高めていきたい。 ・学校や公民館等の要請を受け、工作指導に出かけることがあり、このことが施設利用増加及び自然の家の周知に繋がってきている。 ・春と秋に開催する北山フェスタには多くの家族連れが訪れ、施設のPRが図られた。今後は内容をもっと充実させていきたい。

	③食事の提供						
	・安全な食事の提供	1 学校給食衛生基準に準じた調理 2 確かな調理技術マニュアルの履行 3 地元産の食材の提供	全利用団体	100%	A 毎月、安全安心の食事提供に係る事項等について、栄養士や調理員等との打ち合わせ会を開催する B 食物アレルギーを持つ利用者には、個別に除去食、代理食、等で確実に対応する 極力、無農薬、減農薬的栽培野菜等の確保に努める C 地元ならではの旬な野菜を使う D 検食については、給食提供開始時刻の30分前まえには行う	5 5: 1, 2, 3, 及び、A、B、C、Dに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 3, 及び、A、B、C、Dに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 3, 及び、A、B、C、Dに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, 3, 及び、A、B、C、Dに係る事項・内容が達成できなかった	・マニュアルに沿った調理を確実に実施し安全・安心な食事を提供していく。 ・職能研修を増やし、調理技術の一層の向上を図る。 ・食堂職員の毎月1回の細菌検査を行う。また、定期的な害虫駆除や日々の厨房清掃を行う。 ・地域野菜を素材にした特色あるメニューの提供に努める。 ・食物アレルギーを持つ利用者の増加に伴い、より確実な対応ができるように、打合せ等による情報収集を充実していく。
	・食材の地元調達	1 地元産米の確保 2 地元農家等と連携した野菜の確保	関係農家及びJA佐賀	100%	A 中山間地のブランド米を提供する B レタスやホウレン草、等の地元生産野菜を使う	4 5: 1, 2及び、A、Bに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2及び、A、Bに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2及び、A、Bに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2及び、A、Bに係る事項・内容が達成できなかった	・米価格の高騰で地元産の米の確保が難しかったが地元JAに協力いただき佐賀県産の米の提供はできた。 ・少しでも多く、地元の野菜などの農産物を食堂の食材として利用するよう努める。 ・地域の根菜類等を利用しての保存食を提供する。 ・利用者が四季を感じ楽しむことができるように、季節に応じた食事の提供をする。
	・利用者意見の反映	1 食事アンケート結果の分析と対応	全利用団体	100%	A 食事等に係るアンケート結果については、食堂と連携を密にし、意見等に対応していく	5 5: 1 及び、Aに係る事項・内容が十分達成きた 4: 1 及び、Aに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1 及び、Aに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1 及び、Aに係る事項・内容が達成できなかった	・利用者の意見や要望については、分析を速やかに行い、適切な対応を心がけていく。 ・食事価格の改定に伴い、メニュー等の改善を図り、利用者への満足度を高めた。 ・個々の嗜好が多様化しているとともにアレルギー利用者が増加傾向にあり、対応が難しくなっているが、できる限り丁寧に対応していく。 ・可能な限り、急な食数の当日変更等に関しても柔軟に対応していく。
	・利用者満足度	1 特色ある食事の提供 2 食事アンケート(量、あじつけなど)の食堂との共有	利用団体	100%	A 食物アレルギー者への適切な対応食を提供する B 地元ならではの旬な食材を使った食事を提供する C 利用者の年齢等にあった量を提供する	5 5: 1, 2, , 及び、A、B、Cに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、B、Cに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、B、Cに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, , 及び、A、B、Cに係る事項・内容が達成できなかった	・地域性を生かした食事メニューの開発・提供に努める。 ・利用団体の個々人の食物アレルギー者を確実に把握し、除去食や代替食の提供に努める。 ・季節に応じた手作りの漬物を提供する。

	④利用者数の増加	1 前年度以上の利用者数の確保 2 前年度以上の利用団体数の確保	昨年度の実績越え	100%	A 数値目標として「年間延べ利用者数: 36, 800人」を目指す B 年間の県内利用団体の目標を350団体と設定する	5 5: 1, 2及び、A、Bに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2及び、A、Bに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2及び、A、Bに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2及び、A、Bに係る事項・内容が達成できなかった	・県内の小学校の利用拡大を図るため、営業活動を行っていった。 ・小学校、公民館、児童クラブ等における出前講座を増やしていく。 ・特色ある体験プログラムを開発しアピールを行った。
	⑤広報活動	1 重点教育事務所管内への訪問広報 2 イベント等での自然の家のPR活動 3 ホームページでの広報推進	主催事業	100%	A 鳥栖、三養基地区の小学校への利用促進のための学校訪問を実施する B 主催事業等開催の周知のためにいろいろな媒体を利用する C ホームページでの広報活動を工夫する	4 5: 1, 2, 3, 及び、A、B、Cに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 3, 及び、A、B、Cに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 3, 及び、A、B、Cに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, 3, 及び、A、B、Cに係る事項・内容が達成できなかった	・ ホームページ、チラシはもとより各種団体、専修学校等への訪問による施設利用の広報に努めるとともにマスコミへのリリースなど利用拡大の取組みを行う。 ・ 退所時に、次回の主催事業の案内をしたり、次年度の計画表を配布したりして利用拡大に取り組む。 ・ 各学校や団体等に直接出向いて、幅広い利用の仕方を提案していく。
3 管理経費の縮減							
	・収入の確保	1 利用団体等の拡大 2 利用収入の数値目標の設定 3 閑散期の収益増の取組み	事業収入	100%	A 機会あるごとに利用促進活動を行なう B 前年度より収益を上げる C 派遣研修等による収益を図る	5 5: 1, 2, 3, 及び、A、B、Cに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 3, 及び、A、B、Cに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 3, 及び、A、B、Cに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, 3, 及び、A、B、Cに係る事項・内容が達成できなかった	・ 更に、魅力ある活動メニューを開発し、利用団体(利用者)へのきめ細かなサービスに努めていく。 ・ 閑散期にクラフト体験の出前授業を数多く行ったため、材料費等の収入が増加した
	・人件費の削減	1 職員による設備のメンテナンスの実施及び環境整備の取組み 2 ボランティア団体との連携	人件費	100%	A 除草や、設備の補修等の作業は職員作業で行う B 施設の環境整備や指導業務補助へのボランティア人材の活用	5 5: 1, 2, 、及び、A、B、に係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, 、及び、A、Bに係る事項・内容が達成できなかった	・除草作業等については機械化を行い効率的に作業を行っていった ・森林ボランティア団体「SAGA森の案内人クラブ」と連携して園地の整備、学校等への指導補助として活躍してもらった。

	・維持管理費の削減	1 光熱費削減の取組 2 施設修繕費削減の取組み	光熱費等	100%	A 不必要な電灯の消灯を推進する B 施設設備の修理は職員作業で行う	5	5: 1, 2, , 及び、A、Bに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容が達成できなかった	・ 節水・節電の取組みを強力に進め、維持管理費の削減を図る。具体的には節電の呼びかけの掲示をするなど、社会貢献・環境活動に努めてきている。 ・ 消費量の多い電球を順次LED電球に取り換え、消費電力の節約に努めるとともに、冷暖房や照明の無駄遣い抑止の取組みをおこなってきている。 ・ 冬場の閑散期に職員の手で施設の補修作業を行い修繕費の削減を図る。 ・ 早めに手入れなどを行い、大きな施設補修を防ぐように努めていく。
4 施設の管理								
	①職員の指導育成・研修体制	1 自然の家の管理運営に必須の資格・講習に関する研修の実施 2 業務力向上に関する研修の実施	職員全員	100%	A 利用者様への接遇に関する研修の実施 B 守秘義務と個人情報に関する研修の実施 C 人権問題に関する研修の実施	5	5: 1, 2, , 及び、A、B、Cに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、B、Cに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、B、Cに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, , 及び、A、B、Cに係る事項・内容が達成できなかった	・ 管理運営に必要な有資格職員の複数人数確保のため「普通救命講習」や「防火管理講習」等の講習会など、積極的に受講してきた。 ・ 発達障害の児童・生徒が増加してきているので、児童・生徒の理解を深める研修を系統的に実施し、職員の資質向上に努めている。 ・ 指導者として、前に立てるように、社会人としての資質やマナーを身につけていく。 ・ 冬場に1日かけて全職員の研修を行い、施設の管理運営方針への共通理解を行った
	②職員の地元雇用	1 地元町内在住者の採用 2 県内在住者の雇用	任用職員数(10名)	100%	A 町内在住者を最優先に採用する B 県内の適任者を採用する	5	5: 1, 2, , 及び、A、B、に係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, , 及び、A、Bに係る事項・内容が達成できなかった	・ 令和6年度職員採用については一定数の地元雇用ができた ・ 直営で行う食堂業務の職員は、全員地元雇用で、また、第3者への委託である清掃業務の職員についても一定の地元雇用ができた。
	③県内発注	1 施設・設備の維持管理業務の発注 2 消耗品・備品等の県内業者への発注	全業種等	100%	A 食堂委託業務をはじめ、すべての業務は県内業者に委託する B ネット販売による安価な品目を購入するが、燃料等については、県内等の業者に発注する	5	5: 1, 2, , 及び、A、B、に係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, , 及び、A、Bに係る事項・内容が達成できなかった	・ 施設設備のメンテナンス等は、極力、地元や県内の業者を優先して発注するよう心がける。 ・ 地域で調達できる物品等については、地域で賄い、また、環境整備等については、地元業者をお願いしていく。

④安全管理対策・体制							
・施設設備の安全点検	1 業者委託による法定点検・検査の実施 2 自主点検の実施	月1回実施	100%	A 消防用設備に係る総合点検等を実施する B 毎月、安全点検日を設け、屋内外の施設・設備の定期点検を実施する C 台風や大雨などの自然災害が発生した場合は、施設・設備の状況把握につとめる	5	5: 1, 2, , 及び、A、B、Cに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、B、Cに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、B、Cに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, , 及び、A、B、Cに係る事項・内容が達成できなかった	・ 法令等に基づく点検・検査は、遺漏なく実施してきた。 ・ 今年度も毎月初めの安全点検は、確実に実施してきた。また、点検の視点については安全面を第一に考えたり、利用者のアンケートを参考にしたりして見直してきた。 ・ 倒木や枯れ枝の危険がある樹木の伐採等を行った。
・事前打合せの実施	1 自然の家を正しく上手に使っていただくための取組 2 体験活動等の効果を上げるための指導者・引率者への支援・指導	全利用団体	100%	A すべての団体に施設利用の仕方について説明する B 利用団体事前打ち合わせ説明事項の理解・確認を行う C 利用団体と最低でも1回の打合せ機会を持つ	5	5: 1, 2, , 及び、A、B、Cに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、Bに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, , 及び、A、Bに係る事項・内容が達成できなかった	・ 利用団体との事前打ち合わせを丁寧に行うようにし、ニーズに応じるだけでなく、より利用目的を達成できるように助言・支援を行う。 ・ 今後も、体験活動の内容によっては、地元の講師や専門的分野の講師で対応していく。
・活動プログラムの指導	1 利用団体の利用目的を達成するための助言・指導 2 下見や事前踏査をもとに支援活動の展開	全利用団体	100%	A 利用団体のニーズにあった活動を提案する B 児童・生徒の年齢等を踏まえて、活動メニューや活動プログラムを提案する C 登山等の自然活動は事前踏査を実施し、安全・安心の推進を図る	5	5: 1, 2, , 及び、A、B、Cに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、B、Cに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、B、Cに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, , 及び、A、B、Cに係る事項・内容が達成できなかった	・ 事前打ち合わせ事項については、利用者の利用目的に沿った打合せができた。 ・ 自然体験活動については、工事の状況等も含め、その都度フィールドの確認や安全・安心の確保を行ってきた。
・活動当日の指導	1 施設の利用案内の周知 2 自然の家の標準生活時間の周知	全利用団体	100%	A 利用団体の入所の折りには、入所式並びにオリエンテーションを行う	5	5: 1, 2, , 及び、Aに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、Aに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、Aに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, , 及び、Aに係る事項・内容が達成できなかった	・ 今年度も、利用者様の施設利用等においては、理解と協力を頂くことができた。 ・ 野外活動や創作活動では、指導員がきめ細かく支援を行うとともに必要によっては、指導者として活動を展開する。 ・ 入所式や退所式、施設・設備の使い方等のオリエンテーションについては、利用団体の利用目的をふまえて、確실히行なった。また、生活オリエンテーション動画を作成し、事前学習にも役立ててもらった。このことが入所式の短縮化につながった。 ・ デジタルサイネージを食堂等に4台設置した。今後はその活用について検討を行っていく。

⑤事故及び災害時の対応体制							
・消防防災訓練等の実施	1 自衛消防活動(消火、通報、避難誘導等の活動)の組織づくり 2 消防計画等に基づく定期的な訓練の実施	年2回の実施	100%	A 消防活動の役割分担による訓練を実施する B 通報訓練を実施する C 避難誘導訓練を実施する D 初期消火訓練(消火器の使い方)を実施する	5	5: 1, 2, , 及び、A、B、C、Dに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、B、C、Dに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、B、C、Dに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, , 及び、A、B、C、D、に係る事項・内容が達成できなかった	・利用の少ない時期での訓練が求められるが、常に緊張感をもって、訓練に努める。 ・職員だけでなく、利用団体様とも連携した訓練をしたいと計画していたが、職員のみでの訓練に終わった。 ・夜間の避難訓練等を中心に避難マニュアルの見直し、再検討が望まれる。
・防火組織及び防災組織の編成	1 防災管理に係る消防計画の作成 2 防災管理業務の業務遂行	全開所日	100%	A 毎月の火災予防上の自主点検を行う B 避難口、階段、避難通路等の避難施設の維持管理を行う C 消防用設備の定期的な点検・整備を行う D 可燃物等の放置防止や倉庫の施錠の徹底 E 利用者様や職員の喫煙管理の徹底	5	5: 1, 2, , 及び、A、B、C、D、Eに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、B、C、D、Eに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、B、C、D、Eに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2, , 及び、A、B、C、D、Eに係る事項・内容が達成できなかった	・防火対象物の構造、避難施設、火気設備、消防用設備等を確実に定期的に検査できた。
・救命、救急講習の実施	1 活動事故等の事故者等への支援力 2 救マーク認定書の取得	職員全員	100%	A 普通救命講習Ⅰを受講する B 普通救命講習Ⅱを受講する C 全職員が心肺蘇生法(人口呼吸 心臓マッサージ AED)を理解する	5	5: 1, 2, 及び、A、B、Cに係る事項・内容が十分達成できた 4: 1, 2, 及び、A、B、Cに係る事項・内容がほぼ達成できた 3: どちらともいえない 2: 1, 2, 及び、A、B、Cに係る事項・内容があまり達成できなかった 1: 1, 2 及び、A、B、Cに係る事項・内容が達成できなかった	・AEDの設置場所の確認と、利用者への周知のための掲示を行ってきた。 ・取り扱いの日常化を図るために、各自でAEDの動画を視聴したり、研修で実習を行ったりして、緊急時に備えることができた。 ・あらゆる研修機会を通して、職員の救命処置や応急処置の技能・能力を高めることができた。

・気象情報等の伝達	1 天災等危機に対するマニュアル整備・充実 2 利用者様への利用期間の天気予報・週間予報の提供 3 主に登山や野外活動日の時系列天気情報の提供	全利用団体	100%	A 気象変化(雷、突風、など)に関わる安全対策の支援 B 登山等の時系列気象情報の確実な提供	5 5:1、2、3、及び、A、B、に係る事項 ・内容が十分達成できた 4:1、2、3、及び、A、B、に係る事項 ・内容がほぼ達成できた 3:どちらともいえない 2:1、2、3、及び、A、B、に係る事項 ・内容があまり達成できなかった 1:1、2、3、及び、A、B、に係る事項 ・内容が達成できなかった	・井原山や雷山の自然体験活動では、森林管理署より入林許可を得、児童生徒の搬送など安全・安心な自然活動を支援することができた。 ・屋外での活動では、自然環境状況はもとより、時系列の天気情報をモニターなどで提供し、利用者の安全・安心な活動を支援できた。
・職員研修	1 安全管理に係るマニュアル作成 2 事故対応に係るマニュアル作成 3 1、2に係る安全・安心の取組み	5回実施	100%	A 防災に関する研修の実施 B 生活事故や活動事故に関する対応研修の実施 C 指導班、総務班それぞれの実務に関する研修の実施	5 5:1、2、3、及び、A、B、Cに係る事項 ・内容が十分達成できた 4:1、2、3、及び、A、B、Cに係る事項 ・内容がほぼ達成できた 3:どちらともいえない 2:1、2、3、及び、A、B、Cに係る事項 ・内容があまり達成できなかった 1:1、2、3、及び、A、B、Cに係る事項 ・内容が達成できなかった	・救命救急講習など実務に必要な研修のみならず、発達障害や対象者の理解を深める研修など多岐にわたる研修を実施した。 ・指導員を中心に県内外の少年自然の家での体験研修も実施できた。
⑥苦情に対する対応	1 利用者様の意見・苦情に係る対応の仕組みや解決体制の構築 2 苦情や意見を述べやすい環境整備	全苦情数	100%	A 苦情への対応手順、担当者等の対応マニュアルを整備、充実する B 「苦情・意見・要望」、などの対応事例を所内に掲示する C 第3者委託業者との打ち合わせを密に行っていく	4 5:1、2、3、及び、A、B、C、Dに係る事項 ・内容が十分達成できた 4:1、2、3、及び、A、B、C、Dに係る事項 ・内容がほぼ達成できた 3:どちらともいえない 2:1、2、3、及び、A、B、C、Dに係る事項 ・内容があまり達成できなかった 1:1、2、3、及び、A、B、C、Dに係る事項 ・内容が達成できなかった	・苦情や意見、要望を真摯に受け止め、早期対応、解決を行う。 ・事後対応として、苦情の原因分析や意見・要望の検証等を行い、情報を職員全員で共有した上で再発防止・運営の向上に努める。 ・第3者委託業者とは、毎日口頭でやり取りを行っていて、必要に応じて協議する時間を作っているが、より確実に共通理解できるように、書面の作成を検討する。
⑦個人情報の保護	1 個人情報の管理・保護のための組織の構成 2 自然の家外部からの安全管理 3 自然の家内部での必要な個人情報に係る仕組み 4 個人情報に係る職員研修	全個人情報	100%	A 個人情報に係る方針や取扱い規程等を作成する B 個人情報の取り扱いについて、利用目的などを口頭又は書面等で告知し、同意を得た場合に取得する C 写真等の個人情報を当初の目的外に利用する場合には、事前に利用者の同意を得る	5 5:1、2、3、4及び、A、B、Cに係る事項 ・内容が十分達成できた 4:1、2、3、4、及び、A、B、Cに係る事項 ・内容がほぼ達成できた 3:どちらともいえない 2:1、2、3、4及び、A、B、Cに係る事項 ・内容があまり達成できなかった 1:1、2、3、4及び、A、B、Cに係る事項 ・内容が達成できなかった	・職員間で個人情報に係る意識を高めていく。 ・業務上知り得た個人情報については、マニュアルに沿った保護や情報開示に努める。 ・収集した個人情報に関しては、厳重に管理し、漏洩、不正流用、改ざん等の防止に適切に対応する。

	実践事項	
総合評価	1 施設の平等性の確保に係る実践事項 ・ 利用団体(利用者)の利用目的達成のためにきめ細かな支援につとめてきた。 2 施設利用の最大化に係る実践事項 ・ 利用団体からのアンケート等での意見や要望に対応し、改善していくことで、利用者の満足度の向上を図りリピーターとして利用していただけるよう務めてきた。 ・ 佐賀県の東部地域の小学校を回って営業活動を行った。 ・ 利用者の数値目標については、「年間延べ利用者数36,800人」としていたが、39,262人の利用となり目標達成できた。。 ・ 北山フェスタの参加者数も増えており、新しい取り組みもそこで紹介することができた。 ・ 出前講座の依頼件数、参加者数ともに前年度に比べ大幅に増えており、北山少年自然の家の活動の場が広がっている。 ・ 新しい活動プログラムも開発し、利用団体にも非常に喜んでもらっている。雨天時プログラムも充実した内容になった。 ・ デジタルサイネージを導入し、入所案内などを動画にして紹介している。 3 管理経費の縮減に係る実践事項 ・ 夜間警備の第三者委託をやめて、職員が行うことになった。施設の安全確保のため機械警備にして対応を行っている。 ・ 所内外の環境整備については、機械化を進め効率的に行うことができ、ほぼ、職員の作業で行うことができた。 4 施設の管理に係る実践事項 ・ 安全点検を実施する中で、施設・設備の点検や大掃除・修繕等を徹底して行い、常時良好で快適な環境づくりに努めた。 ・ 職員の任用については、第3者委託業務まで含めて一定の人数を任用することができた。	1 施設の平等性の確保に係る課題・改善点 ・ 発達障がいの子供・生徒への支援の強化。 ・ 増加の傾向にある食物アレルギーを持つ利用者の確実な把握とその対応。特に、学校以外の社会教育団体やスポーツ団体、各種団体等の参加者の中での該当者の把握。 ・ デジタルサイネージを活用した、施設利用のための情報(道路事情、自然の家周辺の状況、雷山や井原山の登山道路及び周辺状況)についての最新の情報の提供。 2 施設利用の最大化に係る課題・改善点 ・ 嘉瀬川ダム水上競技場やFURUYUキャンプとの連携による施設の活性化。 ・ 森林資源を活用したSDGs体験学習の推進や樹木や自然に触れ親しむプログラム開発 ・ 施設の環境整備を行い、美しい里山景観を作り出す。 ・ 食事の内容については、子どもや大人の嗜好傾向をつかみ、献立を工夫してきたが、今後は、食事のメニューはもとより、主食や副食の量を考慮していく。 ・ 北山少年自然の家ならではの提案型事業を実施し、利用者増及び利用者満足度を高めていく。 3 管理経費の縮減に係る課題・改善点 ・ 清掃業務の完全な第三者委託から、清掃作業員の一部を事務員としての雇用に替えて、仕事の範囲を広げて経費を縮減する。 ・ LED電球の導入を順次進めてきているが、日常の節電・節水と併せて節減に取り組む。 ・ 現在の環境やあるものを把握し、利用や再利用できるように工夫して、新たな購入物を最小限に止めていく。 4 施設の管理に係る課題・改善点 ・ 施設設備が古くなってきており、今後も引き続き大規模な修理・改修が求められる。職員の手でできるものは、冬季の閑散期にできるだけやっていく。 ・ 施設・設備のUD化、冷暖房設備やトイレの改修、Wi-Fiの接続等に伴い、今後の施設利用団体等の拡大に繋げていく。